

リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

3年国語科の事例

単元名：まいごのかぎ

課題 なぜりいこの気もちがかわったのだろう？

題材設定

課題提示

場面ごとに気持ちと、その根拠になる言葉を色分けしながら記入したり、オンラインで友達のノートと比較・共有したりした。まとめ・ふりかえりも同じように共有できるようにした。

中間共有

まとめ・ふりかえり

学習形態を工夫し、気持ちの読解に必要なこと（題材提示）を通して、児童と共に課題を設定していった。

（例）言葉に注意すれば気持ちがわかる。
→なぜりいこの気もちがかわったのだろう？

まいごのかぎ まとめ

なぜ「りいこ」の気もちが変わったのだろう？

いやなこともあったけどかぎをひろっているんな所のかぎをさして、びっくりなことがあるあって気もちがさいしょとは、うれしくなって、さいごはともう

【考え】
「りいこ」の気もちがかわったのは、かぎがひろいてくれたからかもしれない。かぎがひろいてくれたから、りいこはうれしくなった。さいごはともう



「考え」なぜさいしょとさいごで「りいこ」の気もちがかわったかというところ、さいしょは、自分が、だんだんいやになってしまったけど、さいごになると、いい出来事がたくさんふえていった、さいごは図工の時間にけしてしまったり、あのうさがバスのまどにうれしそうに手をふっていて、りいこもうれしい気もちがかわって、楽しい気もちがかわって、さいごはいい気もちになった。

はじめは、文字の入力に戸惑う児童も見られたが、繰り返し学習していくうちに、ほとんどの児童がスムーズにまとめられるようになった。また、これまでの学習で、人物の気持ちやその理由を主観で答えてしまう児童も、可視化することにより登場人物の心情と根拠となる言葉とを結びつけて考えられるようになっていった。

